

令和7年度 第1回静岡市子ども読書活動推進会議

日時 令和7年8月 29 日(金) 14:00～

会場 清水庁舎 3階 第1会議室

次 第

1 開会

2 委嘱状及び任命通知書の交付

3 教育局次長挨拶

4 議題

(1) 会長及び副会長の選出

(2) 「第4次静岡市子ども読書活動推進計画」の趣旨及び策定経緯について

(3) 「第4次静岡市子ども読書活動推進計画」の数値目標及び取組の実績報告について

5 その他

6 閉会

令和7年度「静岡市子ども読書活動推進会議」委員名簿

任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日

	区分	役職	所属	氏名
1	学識経験がある者	大学教授	静岡大学教育学領域	コミナミ ヨウスケ 小南 陽亮
2	学識経験がある者	大学教授	静岡福祉大学子ども学部	ムカイヤマ マモル 向山 守
3	小学校及び中学校児童及び生徒の保護者を代表する者	静岡市PTA連絡協議会 副会長	静岡市PTA連絡協議会	カイ ナユミ 甲斐 奈弓
4	小学校及び中学校児童及び生徒の保護者を代表する者	静岡市PTA連絡協議会 元家庭教育副委員長	静岡市PTA連絡協議会	オヤマ トモコ 小山 智子
5	市民	公募		オオムラ マリエ 大村 茉李恵
6	市民	公募		オオムラ ミサト 大村 美郷
7	小学校又は中学校の校長	静岡市校長会	静岡市立西奈南小学校	ミヤギ シマ マサシ 宮城島 昌史
8	保育園又はこども園等の園長	こども園園長	静岡市立入山こども園	マツナガ カズコ 松永 和子
9	小学校の司書教諭	司書教諭	静岡市立足久保小学校	イワブチ ノリコ 岩渕 徳子
10	中学校の司書教諭	司書教諭	静岡市立籠上中学校	エンドウ メグミ 遠藤 恵

令和7年度 静岡市子ども読書活動推進委員会委員名簿

	所属（局）	所属（課）	職名	氏名	電話
委員長	教育委員会事務局教育局		次長	西島 弘道	82－2210
副委員長	教育委員会事務局教育局	教育センター	所長	谷口 康代	251－3288
副委員長	教育委員会事務局教育局	中央図書館	館長	山梨 和美	81－6702
1	市民局	男女共同参画・人権政策課	参与兼課長	島田 裕介	81－2250
2	市民局	生涯学習推進課	課長	大石 誠	81－3871
3	観光交流文化局	文化政策課	課長	望月 雅乃	81－3810
4	こども未来局	こども未来課	課長	浅沼 都	82－2602
5	こども未来局	こども若者応援課	課長	飯田 浩史	81－4140
6	こども未来局	幼児教育・保育支援課	課長	松世 昌紀	82－2619
7	こども未来局	こども園運営課	課長	宇佐美 哲也	82－2631
8	教育委員会事務局教育局	教育総務課	理事兼課長	阿部 薫夫	82－2502
9	教育委員会事務局教育局	教育資産管理課	参与兼課長	大瀧 雅博	82－2510

令和7年度 静岡市子ども読書活動推進委員会作業部会員名簿

	所属（局）	所属（課）	職名	氏名	電話
1	市民局	男女共同参画・人権政策課	主査	榎本 有希	81－2251
2	市民局	生涯学習推進課	主任主事	福田 都萌	81－3892
3	観光交流文化局	文化政策課	主事	松井 勇樹	81－3812
4	こども未来局	こども未来課	主事	鈴木 萌	82－2606
5	こども未来局	こども若者応援課	主任主事	福田 菜緒	81-4144
6	こども未来局	幼児教育・保育支援課	主任保育教諭	青島 真由	82－2636
7	こども未来局	こども園運営課	田町こども園園長	興津 友紀	252-6374
8	教育委員会事務局教育局	教育総務課	管理主事	田中 一弘	82－2503
9	教育委員会事務局教育局	教育資産管理課	主任主事	村上 建斗	82－2513
10	教育委員会事務局教育局	教育センター	学校図書館支援室室長	新井 義広	275－2028
11	教育委員会事務局教育局	教育センター	指導主事	石上 恵	275－2028

事務局

教育委員会事務局教育局	中央図書館	係長	海野 麻衣	81－6702
教育委員会事務局教育局	中央図書館	主査	井柳 京子	81－6702
教育委員会事務局教育局	中央図書館	主任主事	関寄 綾乃	81－6702

令和7年度 第1回静岡市子ども読書活動推進会議 席次表

			会長		副会長							
コシナミ 小南	ヨウスケ 陽亮	委員	学識経験者				学識経験者		ムカイヤマ 向山	マモル 守	委員	
カイ 甲斐	ナユミ 奈弓	委員	小中学校 保護者代表				小中学校長		ミヤギシマ 宮城島	マサシ 昌史	委員	
オヤマ 小山	トモコ 智子	委員	小中学校 保護者代表				こども園園長		マツナガ 松永	カズコ 和子	委員	
オオムラ 大村	マリエ 茉李恵	委員	公募				司書教諭		イワフチ 岩渕	リコ 徳子	委員	
オオムラ 大村	ミサト 美郷	委員	公募				司書教諭		エンドウ 遠藤	メグミ 恵	委員	
			中央図書館長		教育局次長		教育センター 所長					
			山梨 和美		西島 弘道		谷口 康代					
中央図書館係長 海野麻衣			事務局									
中央図書館主査 井柳京子												
中央図書館主任主事 関寄綾乃												
			文化政策課長		幼児教育・ 保育支援課 課長補佐		こども園運営 課長		教育資産管理課 参与兼課長		教育センター 学校図書館 支援室長	
			望月 雅乃		岩田 晃明		宇佐 美哲也		大瀧 雅博		新井 義広	
			男女共同参画 ・人権政策課 主査		文化政策課 主事		教育総務課 管理主事		教育資産管理課 課長補佐兼 経理係長		教育センター 指導主事	
			榎本 有希		松井 勇樹		田中 一弘		入澤 達也		石上 恵	

【傍聴人席】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

「第4次静岡市子ども読書活動推進計画」の概要

1 計画策定の経緯

平成13年12月	子どもの読書活動に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにした「子どもの読書活動に関する法律」が公布・施行。
平成14年8月	同法第8条第1項の規定により、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定される。
平成16年1月	「静岡県子ども読書活動推進計画」が策定される。
平成19年2月	<u>「静岡市子ども読書活動推進計画」を策定する。</u>
平成20年3月	第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定される。
平成23年3月	「静岡県子ども読書活動推進計画－第二次計画－」が策定される。
平成24年11月	<u>「第2次静岡市子ども読書活動推進計画」を策定する。</u>
平成25年5月	第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定される。
平成27年3月	<u>「第3次静岡市子ども読書活動推進計画」を策定する。</u>
平成30年3月	「静岡県子ども読書活動推進計画－第三次計画－」が策定される。
平成30年4月	第四次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定される。
平成31年3月	中間見直しを行い、数値目標の一部を上方修正する。
令和5年3月	第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定される。
令和5年3月	<u>「第4次静岡市子ども読書活動推進計画」を策定する。</u>

2 目的

国籍や育った環境、障がいの有無にかかわらず、全ての子ども一人ひとりが自然に読書に親しむことができるよう、子どもの読書環境を整備する施策を総合的に推進することを目的とする。

3 内容

- (1) 対象 おおむね18歳以下の者
- (2) 期間 令和5年度から令和12年度までの8年間
- (3) 4つの基本の方針と主な取組
 - ① 子どもが読書に親しむ機会の提供
 - －子どもや親子が自ら参加するおはなし会等の実施－
 - ② 子どもの読書環境の整備・充実
 - －資料・システム・人材の充実による読書活動の整備－
 - ③ 子どもの読書活動に関する啓発
 - －ブックリストの配布や図書委員等生徒による読書啓発－
 - ④ 学校・地域等の関係機関の連携・協力
 - －ボランティアとも連携した地域での読書活動の推進－

4 進行管理について

平成19年度から、学識経験者や市民委員などで構成する「静岡市子ども読書活動推進会議」を設置し、事業の進捗状況の点検や評価などを行い、継続的な進行管理を実施。

【第4次計画 数値目標実績一覧】

	目標項目	《実績》 令和4年度	《実績》 令和5年度	《実績》 令和6年度	4次計画 《目標》 令和12年度	参考 《県の目標》 2025年
1	図書館の児童図書の年間貸出し冊数(12歳以下の子ども1人あたり)	20.4冊	19.5冊	19.6冊	22冊以上	24冊以上
2	図書館における貸出冊数13歳以上18歳以下の子ども1人あたり)	—	2.8冊	2.4冊	3.3冊以上	—
3	図書館の児童図書の蔵書冊数(12歳以下の子ども1人あたり)	8.4冊	8.9冊	9.0冊	9冊以上	—
4	朝読書、読み聞かせ等全校一斉の読書活動を実施している学校数の割合	小学校 100% 中学校 100% 小中学校 100%	小学校 100% 中学校 97.3% 小中学校 100%	小学校 100% 中学校 95.2% 小中学校 100%	小学校 100% 中学校 100% 小中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
5	1か月にまったく本を読まない児童・生徒の割合(デジタルによる読書も可)	小学生 0.99% 中学生 12.9% 高校生 —	小学生 5.1% 中学生 6.0% 高校生 —	小学生 5.5% 中学生 11.0% 高校生 46.9%	小学生 0% 中学生 7.0% 高校生 50.0%	—
6	読書週間や「子ども読書の日」等読書啓発イベント等に取り組んだ学校数の割合	小学校 100% 中学校 100% 小中学校 100% 高校 —	小学校 100% 中学校 94.6% 小中学校 100% 高校 —	小学校 100% 中学校 94.6% 小中学校 100% 高校 100%	小学校 100% 中学校 100% 小中学校 100% 高校 100%	小学校 100% 中学校 100%
7	学校図書館の蔵書の中に点字図書、デジ ー図書、外国語の書籍など子どもの多様な特性に応じた書籍を扱っている学校数の割合	—	小学校 72.5% 中学校 67.5% 小中学校 93.3% 高校 —	小学校 87.7% 中学校 83.3% 小中学校 100% 高校 —	小学校 100% 中学校 100% 小中学校 100% 高校 100%	—

※実績算定方法

- ◆1・2・3(図書館関係): 図書館統計データから年度末の冊数を抽出し、静岡市年齢別人口(各年3月31日現在)の該当年齢で除し算定
 - ◆4・6・7(学校関係): 全市立小・中・小中学校、高校にアンケートを配布し教員が回答(調査時期: 小・中・小中学校 10月、高校 11月)
 - ◆5(児童・生徒関係): 小・中・小中学校は全市立の各学校の全学年から各1クラスを抽出し、教員が児童・生徒へ聞き取りにより調査、市立高校(2校)は全生徒を対象としたインターネットによるアンケート調査(調査時期: 小・中・小中学校 10月、高校 11月)
- ※「本」は教科書・資料集・参考書・雑誌を除き、電子書籍は含む。

第4次静岡市子ども読書活動推進計画取組状況一覧表

資料3

【達成度】 A:取組内容のとおり順調に実施されている B:取組内容に従って実施されているが改善の余地がある C:取組が遅れている、または実施していない

(1) 子どもが読書に楽しむ機会の提供—子どもや親子が自ら参加するお話し会等の実施—

整理番号	対象	取組名	内容	令和5年度実績	令和6年度実績	達成度	担当課
1	すべての子ども	図書館の各種講座・イベント	幅広いジャンルからテーマを取り上げて、講座やイベントを実施します。講座やイベントをとおり図書館に慣れ親しんでもらい、本との出会いの場を提供します。	全12館にて47回実施 2,246人参加	全12館にて60回実施 3,358人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
2	乳児	ブックスタート事業	赤ちゃんの健やかな成長と、子育て支援の環境の充実を目指し、保健福祉センターで行われる「6か月児育児相談」の機会に、その地域で生まれた全ての赤ちゃんと保護者を対象にメッセージを伝えながら絵本やアドバイスブックレットなどが入ったブックスタートパックを手渡します。	全9保健福祉センターにて 166回実施 3,672組参加	全9保健福祉センターにて 162回実施 3,336組参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
3	乳児 幼児	子育て支援施設での おはなし会	子育て支援センターやあそび・子育ておしゃべりサロン(子育て支援施設等で月1回程度未就園の親子を対象に行う子育て支援事業)において、保育士等によるおはなし会や読み聞かせを開催します。	実施場所多数および実施時期不定期のため、開催回数等の把握が困難	実施場所多数および実施時期不定期のため、開催回数等の把握が困難	A	こども未来課 地域子育て支援係 81-4112
4	乳児 幼児	毎日の保育の中での読み聞かせや紙芝居等の実施	読み聞かせや紙芝居など幼児が絵本や物語などに親しむ活動を、毎日の保育の中で積極的に行います。	体を沢山動かした活動の後やおやつ後のほっとした時間など、職員のひざに入り絵本を読んでもらったり、お昼寝前にゆったり紙芝居を楽しむ等、大いに利用し楽しんでいる	お話の世界を保育者や友だちと楽しんだり、活動の導入や自分の知りたいことを調べるツールとして活用している。職員が他クラスを訪問する会や誰でも聞きに来れる会などお話の会を開催し、様々な職員が選んだ絵本との出会いが知らないジャンルに触れる機会にもなっている。	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導係 82-2622

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和5年度実績	令和6年度実績	達 成 度	担 当 課
5	乳児 幼児	保護者やボランティアによるおはなし会等の実施	職員の読み聞かせなどの他に、幼児の発達段階に応じて、保護者や地域の読み聞かせグループ等による「絵本の読み聞かせ」「手遊び」「エブロンシアター」などのおはなしの会を行います。	地域の方と繋がり読み聞かせの会を実施したり、小学校の図書室を訪問し司書の方に読み聞かせをしてもらった。団体貸し出しや移動図書館の活用もしている。	地域のボランティアによるお話の会を行っている	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導係 82-2622
6	幼児	ブックステップ事業	ブックスタート事業のフォローアップ事業として、保健福祉センターの「1歳6か月児健康診査」時に、読み聞かせの意義や方法、絵本の紹介等を行います。絵本をとおして親子のふれあいを図り、信頼関係を培うと共に、子どもの心の発達を促すことを目的としています。	全9保健福祉センターにて 109回実施 4,063組参加	全9保健福祉センターにて 113回実施 3,705組参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
7	乳児 幼児 小学生	定例おはなし会	子どもに本への興味や関心を持ってもらうために、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせやストーリーテリング、紙芝居、手遊び、折り紙等を実施します。	全12館にて607回実施 7,672人参加	全12館にて643回実施 8,170人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
8	乳児 幼児 小学生	生涯学習施設での読み聞かせ講座等の開催	生涯学習施設では、子どもが読書に親しめるように、読み聞かせの講座等を行います。また、家庭教育学級では保護者が読み聞かせや読書の重要性を学ぶ講座等を行います。	開催回数 126回(26講座) 参加者数 1,940人 ※家庭教育学級については、連続プログラム内の一部であるため、計上しない。	開催回数 88回(18講座) 参加者数 1,799人 ※家庭教育学級については、連続プログラム内の一部であるため、計上しない。	A	生涯学習推進課 人づくり事業推進係 81-3892
9	乳児 幼児 小学生	児童館における読み聞かせの推進	児童館では、子どもの読書への関心を高めるとともに、保護者に対しても読書への関心をもってもらうため、読み聞かせやおはなし会を定期的に開催します。	市内13館 開催回数 387回 参加者 6,009人 (こども 2,767人 大人 3,242人)	市内13館 開催回数 384回 参加者 6,414人 (こども 2,982人 大人 3,432人)	A	こども若者応援課 児童クラブ係 81-4144
10	小学生 中学生	読書推進活動(読み聞かせや読書イベント等)の実施	各学校では、図書委員会の読書イベント、教員や保護者、地域ボランティアによる読み聞かせ、お便りの発行等を計画し実施していきます。	学習用端末を利用してこどもにアンケートをとる等、各校で工夫して様々な読書イベントが行われている。保護者や地域の方がボランティアとして参加している学校も多い。	各校で工夫して様々な読書イベントが行われている。保護者や地域の方が読み聞かせをしたり、学校図書館の掲示物を作成したりするなどのボランティア活動も行われている。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
11	小学生 中学生	読書の習慣化	小中学校では、子どもが読書に親しみ、読書する習慣を身に付けるため、教育活動の中に読書をする機会(朝読書や読書旬間、家庭読書の啓発など)を設けます。	小学校では、学校図書館を利用する時間を週1課に割り当てている学校が多い。中学校では、朝読書が位置づけられ、短時間でも読書をするを大切にしている。	小学校では、学校図書館を利用する時間を週1課に割り当てている学校が多い。中学校では、朝読書が位置づけられ、短時間でも読書をするを大切にしている。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614

(2) 子どもの読書環境の整備・充実 ―資料・システム・人材の充実による読書環境の整備―

整理番号	対象	取組名	内容	令和5年度績	令和6年度実績	達成度	担当課
12	すべての子ども	児童コーナーの整備・充実	将来の可能性を秘めた子どもたちが、その可能性を十分に引き出せるよう幅広く本を選び、児童コーナーを充実させます。本の並べ方や表示の仕方を工夫します。また、展示コーナーでは様々なテーマで魅力的な児童図書の展示を行います。	児童書蔵書冊数 540,373冊(うち紙芝居 9,147冊) 児童書特集展示 年12回実施	児童書蔵書冊数 528,964冊(うち紙芝居 9,090冊) 全12館で児童書の特集コーナーを設け、季節に合わせて定期的に入れ替えを行った。	A	中央図書館 サービス係 81-6702
13	すべての子ども	おうちde読み聞かせ	自宅で読み聞かせを楽しんでもらうため、『おいしいものセット』『のりものセット』などのテーマで3〜5冊セットを作り、読み聞かせの手引きやおすすめ絵本のリストなども添えて貸し出します。	全12館で3,350セット(8,787冊)貸出	全12館で3,438セット(9,262冊)貸出	A	中央図書館 サービス係 81-6702
14	すべての子ども	子どもの本を学ぶ講座	児童書の豊かな世界にふれ児童文学をより深く学べる機会を市民に提供するために、「静岡子どもの本を読む会」と共催で子どもに関係した各分野から作家、画家、科学者等を招いて開催します。	6回開催 延べ383人参加	6回開催 延べ443人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
15	すべての子ども	南部図書館講座「子どもの本を楽しむ」	子どもにより良い読書習慣を身につけさせたい保護者を対象に、児童書や図書館についての理解を深めてもらうための講座を開催します。	5回開催 延べ52人参加	5回開催 延べ18人参加	A	中央図書館 (南部図書館) 81-6704
16	すべての子ども	録音図書やバリアフリー絵本等の整備・充実	障害のある子どもたちが豊かな読書活動ができるように、録音図書や点訳絵本、さわる絵本等の充実を図ります。	特別な配慮を必要とするこどもを対象としたコーナー「りんごの棚」を設置。LLブック、大活字本等を配架した。 点字付児童書 84タイトル 音訳児童図書 157点所蔵	特別な配慮を必要とするこどもを対象としたコーナー「りんごの棚」を設置。LLブック等を重点的に選書・購入し利用に供した。 点字付児童書 95タイトル 音訳児童図書 165点所蔵	A	中央図書館 サービス係 81-6702
17	すべての子ども	御幸町図書館の多言語サービス	外国人住民や異文化に関心をもつ市民のために、英語・中国語・ポルトガル語等の図書・雑誌や、日本語教育の図書を整備します。	ピクチャーブック・リーディング 3回実施 130人参加	ピクチャーブック・リーディング 3回実施 96人参加	A	中央図書館 (御幸町図書館) 81-6692

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和5年度実績	令和6年度実績	達 成 度	担 当 課
18	すべての 子ども	図書館職員の研修 等の充実	児童サービスおよびYAサービス担当職員 の専門性を高めるため、研修の機会を充実 させるとともに、自主的な研究を奨励しま す。	県図書館大会・全国公共図書館研究集 会・ 公立図書館等職員専門研修(児童・青 少年サービス研修) 計18人参加	新職員研修(8人)、児童担当職員研修 (42人)実施 県図書館大会・公立図書館等職員専門 研修(児童・青少年サービス研修) 計 21人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
19	すべての 子ども	電子図書館の設置	読書や調べ学習で活用できる電子図書な どが閲覧できる電子図書館を設置し、デジ タル社会に対応した読書環境を整備しま す。	令和6年3月1日 電子図書館サービス 開始	令和6年9月1日 市立小・中学校での 電子図書館利用開始(児童・生徒・教職 員へ専用IDを配布) 利用可能書籍 675点	A	中央図書館 サービス係 81-6702
20	乳児 幼児	ハローベビー赤ちゃん のための読み聞 かせ講座	赤ちゃんの健やかな成長に役立つ本の紹 介や赤ちゃんが生涯にわたって読書を楽し めるためのきっかけ作りを目的に、読み聞 かせ初心者のお父さんやお母さんなどを対 象とした読み聞かせ講座を実施します。	12館にて38回実施 保護者と赤ちゃん231人参加	12館にて27回実施 保護者と赤ちゃん 97人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
21	乳児 幼児	利用しやすい絵本 コーナーの設置と整 備・充実	乳幼児が絵本に親しむ環境を保育室に整 えたり、貸出絵本コーナーを設置し、随時子 ども・保護者の要求や職員が提供したい本 を整備し充実を図ります。	各保育室やホール等の共有スペースに、 他のコーナーと離す等くつろいで絵本を 楽しめるよう絵本コーナーを設置してい る。季節や行事に関する本を展示するな ど変化させている。	見たい本が探し出しやすい様に区分し たり、表紙を見せて手に取りやすい収納の 工夫をしている。地域の図書館より、多数 の本を入れ替えをしながら園が貸り受 け、子どもたちが楽しませてもらっている 園もある。	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導者係 82-2622
22	乳児 幼児	職員に対する読書 指導等の研修の充 実	絵本に関する研修会に参加し、職員への研 修報告を実施したり、園内研修で絵本作家 を招き研修を実施します。また、絵本のプロ ジェクトチームを結成し絵本購入の検討会 を開いたり、自主研修へ参加したりします。	こども園課主催の実践研修などで発達 に沿った絵本の選び方や読み聞かせの 仕方などを学んでいる。絵本の分掌が中 心となり絵本や紙芝居の管理・購入検討 を行っている。	こども園課や保育士会主催の実践研修 などで、発達に合った絵本の選び方や絵 本を通して育むチカラを学び、研修報告 で学び合いをしている。分掌を中心に絵 本の修繕や入れ替え、購入を行っている	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導者係 82-2622
23	乳児幼児	コアラタイム	赤ちゃんや小さな子どもでにぎやかになっ ても保護者が気兼ねなく過ごせる時間帯を 設けます。	全12館にて実施(各館で週1回又は2 回)	全12館にて実施(各館で週1回又は2 回)	A	中央図書館 サービス係 81-6702

整理番号	対象	取組名	内容	令和5年度実績	令和6年度実績	達成度	担当課
24	幼児 小学生	一日こかげ文庫	移動図書館車で遠隔山間地の小学校を訪問して、読み聞かせや本の貸出等を実施します。	「山間地特別訪問」として、玉川小中学校、梅ヶ島小中学校、大河内小中学校、清沢小学校の4校で実施。	「山間地特別訪問」として、玉川小中学校、梅ヶ島小中学校、大河内小中学校、大川小中学校の4校で実施。	A	中央図書館 サービス係 81-6702
25	幼児 小学生 YA	科学館メディアライブラリーの整備・充実	静岡科学館る・く・るでは、来館した市民の閲覧用の図書コーナーを設け、科学や環境に関する様々な図書を整備します。	科学に関する図書を22冊廃棄したのち、新規で55冊購入し、蔵書数1,514冊となった。	科学に関する図書を新規で17冊購入し、蔵書数1,531冊となった。	A	文化政策課 施設係 81-3823
26	小学生	ちよい読み文庫	子どもたちが本とふれあう機会を増やすため、「ちよい読み文庫」として校内の身近な場所に本を置き、すきま時間に読書に親しめる環境をつくります。	教科書改訂に伴い、新たに駒形小学校、大里東小学校、清水駒越小学校、中島小学校の4校を選定し実施。	駒形小学校、大里東小学校、清水駒越小学校、中島小学校の4校で継続実施。	A	中央図書館 サービス係 81-6702
27	小学生 中学生	校舎改築・増築・大規模改修事業	静岡市アセットマネジメント基本方針に基づく校舎等の改修、改築により、静かで快適な読書環境の整備を進めていきます。	蒲原小中一貫校校舎建設工事設計業務完了(令和6年3月完了)	蒲原小中一貫校校舎建設工事施工中 蘆科小中一貫校校舎建設工事設計中	A	教育資産管理課 82-2513 (建設総務課 学校施設企画係 81-3488)
28	小学生 中学生	学校図書館の充実 (図書整備)	内容が新鮮で読む人にとって魅力的な本や授業に役立つ本について、学校が整備充実させることができるように、一定の水準に照らし合わせて、毎年学校図書館の図書購入費の確保に努めます。	図書購入費 67,248,243円 図書保有数 1,353,657冊 小中学校数 126校	図書購入費 66,470,670円 図書保有数 1,339,804冊 小中学校数 123校	A	教育資産管理課 経理係 82-2513
29	小学生 中学生	ICTや一人一台端末を活用した読書活動の推進	学校図書館支援室ポータルサイトを活用して、授業実践や読書活動の情報共有を行ったり、ブック通りスト+や電子書籍を活用したりする等、デジタルと図書資料のそれぞれの特徴を生かした利用の促進を行います。	学習用端末を使って読み聞かせの練習をしたり、おすすめの本のスライドを作ったりするなど、ICTと本のベストミックスな授業実践が行われている。令和6年度からは、市立図書館の電子書籍を学習用端末で閲覧できるよう準備を進めている。	市立図書館の電子書籍を学習用端末で閲覧できるようになり、利用が進んでいる。学校図書館ポータルサイトを更新し、「しずおか学」の参考になる資料やサイトを掲載し、学習の参考になるようにした。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
30	小学生 中学生	多様な子どもの特性に応じた取組	学校の実態や子どものニーズに合わせ、ユニバーサルデザインの視点に沿った環境整備や、多様な子どもの特性に応じた選書(点字図書、デイジー図書、LLブック、外国語本など)やサービスの工夫をします。	教科指導のため外国語本を購入している学校は多いが、多様なこどもの特性という観点から選書している学校は少ない。今後学校への情報提供を行い、整備を促していく。	ソファを用意したり、畳を敷いたりするなどこどもの心の居場所としての学校図書館づくりを考える学校が増えてきた。点字図書や外国語本などを導入する学校が増えている。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614

整理番号	対象	取組名	内容	令和5年度実績	令和6年度実績	達成度	担当課
31	小学生 中学生	学校図書館の配架等の環境整備	学校図書館では、子どもが利用しやすい配架や展示の工夫を行うことで、子どもの読書意欲を喚起し、資料の学習利用を促します。	学習に応じたコーナーの設置や活用しやすい配架の工夫について学校図書館活用ガイドラインを基に環境改善を進めている。	図書分類に沿った配架を行い、どこに何の本があるのかが一目でわかるようサインを工夫している。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
32	小学生 中学生	学校図書館の人的整備の推進	各学校では、学校図書館担当者を選任します。(12学級以上の学校に司書教諭を発令。)また、50人以上の学校には、専任の学校司書を配置し、50人未満の学校には教育センターの学校司書が兼務します。	12学級以上の学校に司書教諭を、11学級以下の学校に学校図書館担当者を配置。また、児童生徒数50人以上の105校には専任の学校司書を配置。50人未満の15校には、教育センターの2人の学校司書を兼務で配置し、巡回訪問とオンラインレファレンスを実施。	12学級以上の学校に司書教諭を、11学級以下の学校に学校図書館担当者を配置。また、児童生徒数50人以上の105校には専任の学校司書を配置。50人未満の15校には、教育センターの2人の学校司書を兼務で配置し、巡回訪問とオンラインレファレンスを実施した。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
33	小学生 中学生	学校図書館にかかわる人の研修等の充実	学校における読書活動の計画や学校図書館の運営についての教員研修並びに、図書館業務や子どもへの対応についての学校司書研修を行います。	新規学校司書対象研修会1回 学校図書館担当者及び学校司書対象合同研修会1回 学校司書対象小中一貫グループ校研修1回 希望研修「情報活用能力を育む授業づくり～本とICTのベストミックス～」(講師:放送大学塩谷氏)1回	新規学校司書対象研修会1回 学校図書館担当者及び学校司書対象合同研修会1回 学校司書対象小中一貫グループ校研修1回 希望研修「これからの学校図書館」講師 塩谷京子氏(放送大学准教授)	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
34	小学生 中学生	読書指導計画・年間活動計画の作成・活用	子どもの主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実をめざし、学校図書館の計画的な利用とその機能の活用を図るため、各学校で読書活動に関する年間活動計画を作成します。	全ての学校で「学校図書館教育全体計画」を作成した。これをもとに、各学校で計画的に読書活動の推進が図られている。	全ての学校で「学校図書館教育全体計画」を作成し、計画的に読書活動の推進が図られている。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
35	高校生	学校図書館の配架等の環境整備	学校図書館では、読みたい本、学習に必要な本を活用するために、子どもが利用しやすい配架や展示の工夫を行います。また、学校図書館の入り口や廊下などに新刊本のコーナーや学習に応じた特設コーナーを設けるなど、子どもの興味を引くような展示をします。	図書館の入口に新刊コーナー、小論文コーナー、進路関係コーナー、SSHコーナー、洋書コーナーを設置し、生徒の利用を促した。 図書館の外側に季節ごとの特設コーナーを設置し生徒達の興味・関心を引く取り組みを行った。	図書館の入口に新刊コーナー、小論文コーナー、進路関係コーナー、SSHコーナー、洋書コーナー等を設置し、生徒の利用を促した。 図書館の外側に季節ごとの特設コーナーを設置し生徒達の興味・関心を引く取り組みを行った。	A	教育総務課 管理係 82-2503

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和5年度実績	令和6年度実績	達 成 度	担 当 課
36	高校生	学習活動における 図書館の利活用	高等学校では、「総合的な学習の時間」の 学習活動における活用に加えて、進路指導 や小論文指導などにおいても図書館を活用 します。	英語・国語・地歴・商業・美術等の教科 指導において学校図書館を活用した。新聞 を活用した授業でも活用した。また、生徒 達は小論文対策学習等において学校図書 館を活用した。自主学習のために延長開館 も行った。	英語・国語・地歴・商業・美術等の教科 指導において学校図書館を活用した。新聞 を授業でも活用した。また、生徒達は 小論文対策学習等において学校図書館 を活用した。自主学習のために延長開館 も行った。	A	教育総務課 管理係 82-2503
37	高校生	学校図書館にかか わる人の研修等の 充実	県教育委員会に依頼し、県立高等学校と 一緒に実施します。	各校ともに県教育委員会に依頼し、県立 高等学校と一緒に実施した。	各校ともに県教育委員会に依頼し、県立 高等学校と一緒に実施した。	A	教育総務課 管理係 82-2503
38	高校生	読書指導計画・年間 活動計画の作成・活 用	子どもの主体的、意欲的な学習活動や読 書活動の充実をめざし、学校図書館の計 画的な利用とその機能の活用を図るため、 各学校で読書活動に関する年間活動計画 を作成します。この活動計画によって、各教 科等において学校図書館を活用したり、読 書の楽しさを子どもに伝えたりします。	図書委員が、読書会、校内ビブリオパ トル、ブックトーク等を行った。 また、学校目標の中に「1ヶ月に1冊本を 読む」を位置づけ、毎月読書記録カード の集計を行い、図書館の積極的利用を 呼び掛けた。	図書委員による、読書会や百人一首大 会の運営、選書ツアー等を行った。 また、学校目標の中に「1ヶ月に1冊本を 読む」を位置づけ、毎月読書記録カード の集計を行い、図書館の積極的利用を 呼び掛けた。	A	教育総務課 管理係 82-2503
39	YA	YAコーナーの整備・ 充実	児童図書から一般図書への橋渡しとしてヤ ングアダルト向けの図書コーナーを設け、利 用されやすい環境づくりを目指します。	YAコーナー蔵書数 40,060冊	YAコーナー蔵書数 40,195冊	A	中央図書館 サービス係 81-6702

(3) 子どもの読書活動の推進に関する啓発 ―ブックリストの配布や図書委員等生徒による読書啓発―

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和5年度実績	令和6年度実績	達 成 度	担 当 課
40	すべての 子ども	ブックリストの作成・ 改訂	子どもの年齢にあったよい本を紹介するためにブックリストを作成し、子どもと本の仲立ちをします。また、定期的に改訂版を作成し、最近の本も紹介します。	令和6年3月「このほんばーった！絵本編」第3訂発行	「このほんばーった！読み物編」改訂版の掲載図書選定作業完了。令和7年度発行予定。	A	中央図書館 サービス係 81-6702
41	すべての 子ども	「子ども読書の日」 のイベント	多くの市民に子どもの読書活動への関心と理解を深めてもらうため、4月23日の「子ども読書の日」に合わせて、各図書館でイベントを実施します。	全12館にて開催 260人参加	大規模改修中の藁科図書館を除く11館にて開催 302人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
42	すべての 子ども	子ども向けホーム ページで情報発信	子どもたちが自主的に本や読書について興味や関心がもてるよう、子ども向け図書館HPで情報を発信します。	図書館ウェブサイト内の「こどもっちページ」「YAページ」の更新を実施。	図書館ウェブサイト内の「こどもっちページ」「YAページ」の更新を実施。	A	中央図書館 サービス係 81-6702
43	すべての 子ども	移動図書館特別訪 問	読書の楽しさを知ってもらうため、移動図書館車による特別訪問を実施します。こども園や小中学校、市内で行われる様々なイベントではおはなし会や図書の貸し出しをします。	「ピクニックガーデン」駿府城公園にて実施 「特別運行 ぶつくるがくるよ！【6ヶ所】」 下川原こども園、清沢こども園、大谷こども園、小島こども園、興津北こども園、庵原こども園にて実施 「静岡はたらくクルマ展」エスパルスドリームプラザにて実施	「特別訪問 ベイドリーム清水」【4回】 「特別運行 ぶつくるがくるよ！【7ヶ所】」 小島こども園、庵原こども園、清沢こども園、蒲原西部こども園、下川原こども園、興津北こども園、西久保こども園にて実施 「静岡はたらくクルマ展2024」エスパルスドリームプラザにて実施	A	中央図書館 サービス係 81-6702
44	すべての 子ども	男女共同参画の視 点を持った絵本等の 紹介	男女共同参画の視点を持った絵本等のリストを作成し、紹介します。	「男女共同参画の理解に役立つ絵本リスト」を作成し、市立図書館あて送付した。	静岡市女性会館図書コーナーで男女共同参画の視点を持った絵本やYA向けの書籍を紹介したほか、絵本等のリストを作成し配布した。	A	男女共同参画・人権政策 課 男女共同参画・人権政策 係 81-2252
45	乳児 幼児	お薦めの本の紹介	絵本コーナーを子どもや保護者の見やすい場所に設置し、新しく入った絵本やおすすめの絵本を見やすい場所に掲示します。また、絵本だよりを発行します。	絵本の登場人物を掲示物にして目に留まるようにしたり、絵本の表紙が見えやすく取りやすい本の置き方を工夫した。	各クラスやロビー等、こどもたちの目に留まりやすく明るいホッと出来る場所にコーナーを設ける。絵本の高さ大きさ、こどもの身長、また絵本を詰め込みすぎて出し入れがしにくくならないようにする等、取りやすさの配慮をする。お薦めの掲示やお便りでお知らせをした。	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導係 82-2622

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和5年度実績	令和6年度実績	達 成 度	担 当 課
46	乳児 幼児	お便り等を活用した 保護者への啓発	保護者へ図書だよりを発行します。また、 日々の保育で子どもたちが興味を持っている 本や読み聞かせている本の紹介をし、 関心を持ってもらいます。	絵本だよりを発行し、絵本や紙芝居を楽し んだり絵本から波及した活動を伝え た。本にまつわるエピソードなど紹介し た。	人気の絵本や行事に関する本・遊びに 展開しているお話など、お便りやドキュメ ンテーションで紹介したり、本の貸し出し をして啓発を行った。	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導者係 82-2622
47	乳児 幼児	「子ども読書の日」 の啓発・広報の推進	4月23日の「子ども読書の日」に合わせ、 各園の実情に応じて、お便りの発行やおは なし会などを行い、保護者と子どもに読書 の楽しさや大切さを伝えていきます。	「子ども読書の日」のポスターを玄関な ど保護者の目につきやすいところに掲示 した。	ポスターを保護者の目にとまりやすい所 に掲示した。移動図書館の利用が、図書 館に関心が向く機会にもなっている。	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導者係 82-2622
48	乳児 幼児	読書週間の絵本の 貸出し	乳幼児向けの絵本の貸出活動に加えて保 護者への子育て情報誌等の本の紹介や コーナーを設置をします。	年間を通して絵本の貸し出しを行った。 また保護者向けに図書館などから発行 されている情報誌を置き自由に見る事が 出来るようにした。	年間を通して絵本の貸し出しを行ってい る。保護者向けの本の貸し出しや図書館 の発行する情報誌を置き、自由にみられ るようにした。	A	こども園運営課 運営係 81-4174 幼児教育・保育支援課 総務・事業者指導者係 82-2622
49	小学生 中学生 高校生	子ども向けパスファ インダーの発行・改 訂	子どもの調べ学習を支援するために子ども 向けパスファインダーを作成します。また、最 新の情報を提供できるよう、定期的に改訂 版を作成します。	掲載情報に変更がないか確認。図書館 ウェブサイトに掲載するとともに、学校司 書研修会で周知を図った。	掲載情報によりアクセスしやすくなるよ う、掲載ウェブサイトの二次元コードを追 加で掲載する改定を実施。	A	中央図書館 サービス係 81-6702
50	高校生	ブックリストの作成 や推薦図書コー ナーの設置	各学校で独自に推薦図書のブックリストを 作成したり、実際手に取って見てもらえるよ うに学校図書館や廊下などに特設コーナ ーを設置したりして、子どもたちに積極的に本 の紹介をします。	図書館の入口に新刊コーナー、小論文 コーナー、進路関係コーナー、SSHコー ナー、洋書コーナーを設置し、積極的に 本の紹介を行った。	図書館の入口に新刊コーナー、小論文 コーナー、進路関係コーナー、SSHコー ナー、洋書コーナーを設置し、積極的に 本の紹介を行った。	A	教育総務課 管理係 82-2503
51	YA	「L magazine」の 発行	「ティーンズと創る図書館情報誌」がテー マのヤングアダルト世代向け図書館PR誌「L magazine」を発行します。	年間4回発行（4月、7月、10月、1月） 計 2,212部発行	年間4回発行（4月、7月、10月、1月） 計 1,341部発行	A	中央図書館 サービス係 81-6702

(4) 学校・地域等の関係機関の連携・協力ーボランティアとも連携した地域での読書活動の推進ー

整理番号	対象	取組名	内容	令和5年度実績	令和6年度実績	達成度	担当課
52	すべての子ども	団体貸出し	市内の学校や児童クラブ、家庭文庫等を対象に、団体の読書活動支援のために団体貸出しを実施します。	全12館で実施 19,216冊貸出し	全12館で実施 103団体 16,271冊貸出し	A	中央図書館 サービス係 81-6702
53	すべての子ども	除籍資料の団体リサイクル	除籍資料のうち再利用可能な状態のものを学校やこども園、児童クラブ等へ提供します。	49団体へ2,678冊を提供	51団体へ3,060冊を提供	A	中央図書館 サービス係 81-6702
54	すべての子ども	図書館の読み聞かせボランティア養成講座	本と子どもを結びつけるために、地域で活動する読み聞かせボランティアの育成を行います。	「読み聞かせボランティア養成講座」 中央図書館で実施(全6回) 35人参加	「読み聞かせボランティア養成講座」 中央図書館で実施(全6回) 29人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
55	乳児 幼児 小学生	出前講座による読書指導	地域・機関からの依頼により、保護者や地域で活動するボランティア等に対し、読み聞かせの指導講座や児童書の選書講座等を実施します。	44回実施 1,447人参加	31回実施 836人参加	A	中央図書館 サービス係 81-6702
56	小学生 中学生	「学校用図書館利用案内」の配布	総合学習・調べ学習で図書館を有効に活用してもらうため、各小中学校に、毎年「学校用図書館利用案内」を配布します。	改訂版を図書館ウェブサイトに掲載 学校司書研修会にて周知	改訂版を図書館ウェブサイトに掲載 学校司書研修会にて周知	A	中央図書館 サービス係 81-6702
57	小学生 中学生	学習活動における図書館の利活用	子どもに提供する図書資料の充実を図るために、市立図書館の「団体貸出し」や「学校協力貸出し」の利用を図ります。また、学習活動の中で、図書館を利用した調べ学習や、図書館の見学(貸出カード作り、本の借り方指導)なども図書館の協力を得て行います。	学校司書の研修会(グループ校研修)で市立図書館の職員が「協力貸出し」「団体貸出し」の説明を行い、利活用を促した。図書館見学や職場体験など、連携の場が広がっている。	小学校は92%、中学校は79%の学校が「協力貸出し」または「団体貸出し」を利用した。小学生の図書館見学、中学生の職場体験のほか、市立図書館の司書が学校に出かけ、ブックトークを行う取組も行われた。	A	教育センター 学校図書館支援室 82-6614
58	小学生 中学生 高校生	学校協力貸出し	学校の総合学習や調べ学習で図書館の本を有効に活用してもらうため、学校が必要とする本を職員が選書して貸出をします。	全12館にて実施 104校へ 16,814冊貸出し	全12館にて実施 110校へ 18,124冊貸出し	A	中央図書館 サービス係 81-6702

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和5年度実績	令和6年度実績	達 成 度	担 当 課
59	小学生 中学生 高校生	図書館訪問の受入れ	授業の一環として行われる図書館見学や、調べ学習による来館調査などに対応し、図書館に対しての理解を深め、読書への関心・興味につなげます。	全12館にて 105クラス 2,609人受入れ	全12館にて 131クラス 3,059人受入れ	A	中央図書館 サービス係 81-6702
60	小学生 中学生 高校生	職場体験学習の受入れ	子どもに業務の一環としておはなし会や児童・ヤングアダルトコーナーの整理等を体験してもらうことにより、読書への関心・興味につなげます。	11館にて 63人受入れ	12館にて 100人受入れ	A	中央図書館 サービス係 81-6702
61	中学生 高校生	YAのための出前講座	学校等からの依頼により、年齢や興味対象に応じてテーマを設定し、ブックトークや読書回転寿司等を行います。*読書回転寿司:数冊1セットの中から1冊選んで読書、記録、本を交換という流れを何度か繰り返す	ブックトーク 安東中学校・清水桜が丘高校・清水東高校(定時制)にて実施 読書回転寿司 静岡女子高校にて実施	ブックトーク 静岡商業高等学校・清水東高等学校(定時制)にて実施 読書回転寿司 清水桜が丘高校、静岡女子高校にて実施	A	中央図書館 サービス係 81-6702
62		静岡市子ども読書活動推進会議の運営	本計画の効果的な推進のために「静岡市子ども読書活動推進会議」を設置し、関係機関の取組の継続的な進行管理を行うとともに、計画全体の進捗状況を評価して、必要に応じて事業の見直しを行っていきます。	令和5年8月30日「第1回静岡市子ども読書活動推進会議」開催。 第4次子ども読書活動推進計画の目標・取組内容を確認した。	令和6年7月26日「第1回静岡市子ども読書活動推進会議」 令和7年1月28日「第2回静岡市子ども読書活動推進会議」開催。 第4次子ども読書活動推進計画の目標・取組内容の実績報告等を行った。	A	中央図書館 サービス係 81-6702

【令和6年度新規取組事業】

整理 番号	対象	取 組 名	内 容	令和6年度取組内容	令和6年度実績	達 成 度	担当課
63	幼児 小学生	中勘助文学記念館 活用事業「絵本の 読み聞かせと自然 をたのしむ会」	中勘助文学記念館にて、ボランティア団体 による絵本の読み聞かせを実施します。開 催季節に合わせて絵本のテーマを設定し、 読み聞かせ後には敷地内の自然観察を行 います。	開催日:10月12日 対象:小学2年生までのこどもとその保 護者	1回開催 参加者数16人	A	文化政策課 施設係 81-3824

1 電子図書館とは

電子書籍を利用者の PC やスマホで貸出し、閲覧できるサービス。図書館向けに用意された商品を購入し提供する。購入した資料は、貸出回数またはあらかじめ決められた期間で使用できなくなるものと、永年使用できるものがあり、書籍により異なる。

基本的には同時に利用できるのは1 書籍につき 1 人で、貸出中の場合は予約が可能であるが、同時利用できる人数に制限のない「児童書読み放題」や「青空文庫」がある。

2 静岡市における導入

導入時期： R6 年3 月1 日（政令市中 17 市目、県内市中 10 市目）

導入事業者： 図書館流通センター（LibrariE&TRC-DL）

導入年度予算： 5,011,000 円（電子書籍コンテンツ・書誌データ購入費用）

導入時冊数： 1,250 冊 電子図書館名： しずおかし電子図書館

3 電子図書館導入による主な効果

- 時間的・地理的な理由で図書館を利用していない市民へのサービス拡大
- 子育てや仕事等で図書館へ行く時間がない、また図書館が近くにないことが理由で利用ができない市民に対し、いつでもどこでも利用可能な電子図書館を導入することで図書館サービスの裾野を広げる。
- 障がい者等へのサービス向上
- 既存の図書では文字が小さくて読めない人に、文字サイズの拡大・音声読み上げ等、電子書籍ならではのサービスを提供する。
- 小・中学校支援の強化
- GIGA スクール構想に基づき、1 人1 台のタブレット 端末が配置されている市内の小・中学校の全ての児童・生徒について、授業で電子図書館の使い方を学ぶことで子どもたちの情報活用能力の育成を図る。
- また、朝読書等での活用により読書の楽しさを知った児童・生徒を、より多いコンテンツが提供できる学校図書館や紙の本へ誘導する。

4 一般利用者へのサービス提供方法

利用対象者： 静岡市に居住、通勤、通学する者

貸出点数： 3 点まで 貸出期間： 2 週間以内 予約点数： 3 点まで



You Tube 動画配信
「24 時間使える図書館
はじめました」

5 学校連携の状況

市内の静岡市立小学校・中学校の児童・生徒、教職員全員に、電子図書館のみ利用が可能な専用 ID を附番し、学習端末から「しずおかし電子図書館」が利用できる連携事業を R6 年9 月から開始した。

（1）ID について およそ 46,000 人に附番（小学生 29,000 人、中学生 14,000 人、教職員 3,000 人）。ID は各学校の番号、入学年度から図書館が定期的に附番し学校へ配布。学校で児童・生徒に振分けて管理。卒業まで同じ ID を利用。

（2）利用可能書籍 同時利用者数に制限のない電子書籍（児童書読み放題、青空文庫、静岡資料）

導入時 計 675 冊（児童書読み放題 170 冊、青空文庫 500 冊、静岡資料 5 冊）

R 7 年度当初 計 759 冊



You Tube 動画配信
「キミにもできる！
しずおかし電子図書館の
使い方」

（3）利用状況（R6 年9 月～11 月）

①ログイン状況

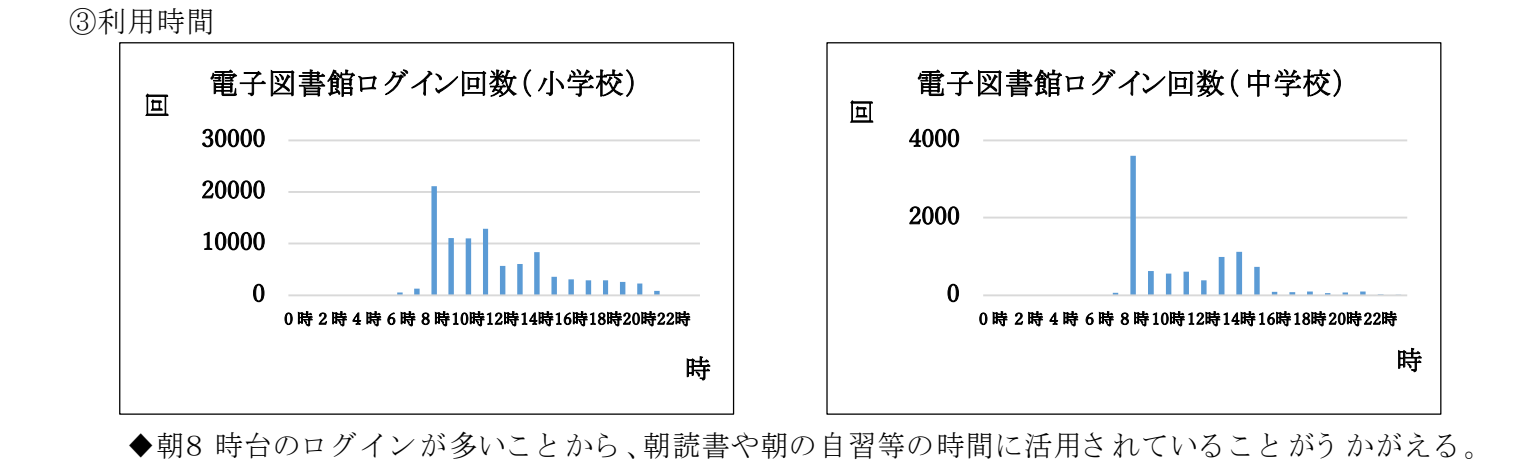
	ログイン回数			ログイン実人数		
	小学生	中学生	一般利用者	小学生	中学生	一般利用者
9 月	29,067	3,788	6,676	9,193	2,823	1,534
10 月	26,618	1,908	6,512	7,621	1,073	1,444
11 月	23,896	1,928	6,294	7,663	1,101	1,324

◆ログイン回数0 回（R6）（R7）
小学校 11 校⇒7 校、
中学校 16 校⇒14 校

②閲覧回数

	小学生			中学生		
	青空文庫	静岡資料	児童書読み放題	青空文庫	静岡資料	児童書読み放題
9 月	534	134	60,198	195	31	3,427
10 月	891	228	53,029	53	41	1,746
11 月	708	92	46,606	50	0	1,946

◆中学生の利用が少ないため YA 世代を対象とした児童書読み放題 68 点を追加で配信（R7 年4 月）



（4）小・中学校教職員アンケート（R7 年7 月実施）

対象：市立小・中学校の教員及び学校司書 調査方法：電子申請による回答（任意）

回答数：792 件（小学校：教員 615 人、学校司書 19 人、その他 23 人 中学校：教員：122 人、学校司書 7 人、その他 6 人）

①しずおかし電子図書館の利用について

しずおかし電子図書館を授業で利用したことがある	227 人	しずおかし電子図書館を知っているが利用したことはない	266 人
利用したことはあるが、授業では利用したことはない	219 人	しずおかし電子図書館を知らない	79 人

②しずおかし電子図書館をどんな場面で利用しているか（複数回答）

自習時間（電子図書館を活用させる）	165 人	授業準備（教材の作成や情報収集）	12 人
授業中（教材・参考資料として）	101 人	教職員の研修や自己研鑽	4 人
授業中（学校図書館の使い方指導等）	65 人	学校図書館の運営業務 図書の選定等）	3 人

③しずおかし電子図書館について必要だと思うこと、期待していること（複数回答）

電子書籍の充実（児童・生徒向け）	626 人	静岡市の郷土資料の提供	199 人
電子書籍の充実（教職員向け）	369 人	児童・生徒への周知・啓発	182 人
教職員への研修の実施（活用事例等）	222 人	技術面でのサポート 体制の強化	99 人
児童・生徒への利用方法指導	216 人	その他（読み上げ・ルビ付書籍の充実等）	14 人